

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

受け入れ体制の整備

アシスタントワーカーを受け入れるために必要な体制整備についての研修を5月10日(火)、18日(水)、6月21日(火)、7月6日(水)の計4回、大阪市社会福祉研修・情報センターにて開催しました。また、6月15日(水)には、専門のアドバイザーが研修に参加する3施設を訪問し、職員体制や運営状況に合わせたコンサルティングを行いました。今後は、これらの研修をふまえて、日々の業務の中で、アシスタントワーカーが必要となる時間帯を検討するために必要な“業務スケジュールシート”や、アシスタントワーカーがスムーズに業務に慣れていくための手引書となる“業務マニュアル”の作成に取り組んでいきます。

アドバイザー紹介

株式会社エクセレントケアシステム
執行役員 人材開発部 部長
柴垣 竹生氏



大手生命保険会社勤務後、1999年に介護業界に転じ、上場企業および社会福祉法人において数々の要職を歴任。公益財団法人介護労働安定センターを中心に、介護事業マネジメントに関するコンサルティング・講演の実績多数。兵庫県立大学大学院(MBA)非常勤講師も務める。近著に『老いに優れる』『介護現場をイキイキさせるマネジメント術』がある。

第1回メンバー施設会議を開催しました

今年度新たに、「アシスタントワーカー」の周知や導入における課題共有、意見交換を目的に、本事業に取り組む施設が集う「メンバー施設会議」を開催しています。

6月17日(金)に、第1回目となる“メンバー施設会議”を開催し、アシスタントワーカー導入における効果や変化、また、現在の求人状況について、情報交換・意見交換を行いました。

次回は、令和4年度の取組み事業所3施設も加わって9月に開催予定です。メンバー施設会議を通じて、本事業の積極的な周知活動につなげていきます。

